

医療現場における幼児後期の子どもの『がんばる力』を支える母親の役割に関する文献検討

新潟医療福祉大学看護学科

那須春香, 坪川麻樹子, 松井由美子, 中村郷子

【背景・目的】

子どもにとって医療現場は、非日常の体験をする場であり、行われる治療や処置によっては心身の苦痛を伴い、さまざまなストレスを感じる場である。本研究の目的は、先行研究で取り上げられている、医療現場における幼児後期の子どもの『がんばる力』を支える母親の関わりや役割に関して検討することを目的とする。

【方法】

1. 文献検索方法

2005年から2015年8月までの過去10年間の文献を、特定非営利活動法人医学中央雑誌行会が提供する文献検索サービスの医中誌Webを用いて、「幼児後期」「母親」「処置」のキーワードで得られた12件のうちの4件、「幼児後期」「母親」「採血」のキーワードで得られた4件のうち1件、「幼児後期」「母親」「手術」のキーワードで24件得たうちの3件、計8件の文献を対象とした。

2. 分析方法

分析対象の文献8件を「医療現場における幼児後期の子どもを支える母親の役割」に焦点を当てて内容を検討した。

【結果】

8件の文献内容から、医療現場での幼児後期の子どもを支える母親の役割について分析したところ、4カテゴリーに分類できた。

1. 【重要な他者である母親の付き添い】(4件)

検査・処置時に母親との分離を強いられた子どもは医療者の指示通り動かさず、感情を抑えていた¹⁾。反対に、母親の付き添いがあった子どもは、母親に甘えることで、不安の感情表出ができていた²⁾。不安を表出し、それを受け入れてくれる重要な他者である母親の存在が必要である。

2. 【子どもの見通しが立つように説明を行う母親】(6件)

幼児後期の子どもは、わからないことに対する不安は、わかっていることに対する不安より耐え難いと感じており、子どももわかる説明を必要としている³⁾。一方で手術における説明では、ほとんどの親が事前の説明をしていたが、子どもが入院中経験する絶飲食などの説明は含まれておらず、親は子どもに必要と判断したことだけを伝えていた実態があった⁴⁾。

3. 【子どもの気持ち・思考を調整する母親】(5件)

子どもに付き添う母親の関わりでは、子どもの気持ち・思考を調整する母親の役割があった。母親は医療者に子どもの思いを代弁する重要な存在で、子どもは嫌な状況を受

け入れる調整をすることができた³⁾。また、親は子供との生活の中で蓄積してきた情報から、子どもの理解度や子どもが不安を感じると予想できる事を照らし合わせ、子どもに合わせた伝え方で伝えていた⁵⁾。

4. 【子どもの頑張りを評価する母親】(4件)

子どもは看護師や家族の称賛により、自分の頑張りを実感し、満足感を得ることができていた²⁾。また、重要な母親からがんばれた軌跡を褒められることにより、は安堵感を感じていた。子どもの頑張りを言語化し、重要な他者からの共感的評価の重要さが示唆されていた¹⁾。

【考察】

文献検討を行った結果、母親に依存することや、不安・恐怖・拒否などを表出し、それを受け入れてくれる母親の存在が大きいことが明らかになった。看護師は、母親の存在意義について認識し、母親が付き添いへの保障が得られるようにしていくことが必要であると考えた。

また、幼児後期の子どもが検査・処置・手術に見通しが持てるように説明していくためには、具体的にイメージでき、見通しを持てる説明が必要である。吉田らは、子どもが検査・処置に見通しを持つことができて、検査・処置に直面すると気持ちが揺らぐ子どもを捉えていた³⁾。子どもの気持ち・思考を調整していける母親の存在があることで、子どもは調整能力を発揮し、納得して臨むことができるのではないかと考える。

本研究は、同一の著者の文献が多いことから、検討内容に限界がある。今後幼児後期の子どもや母親を対象に、子どもの『がんばる力』をより一層支えられるよう研究を進めていく必要がある。

【結論】

母親へ処置・検査中の具体的な付き添い方や関わり方を説明することが必要であり、子どもがどこまで受け入れられるかを母親とともに検討することが重要である。

【文献】

- 1) 吉田美幸, 他: 検査・処置を受ける幼児後期の子どもが必要としている母親の関わり, 日本小児看護学会誌, 18(1), 51-58, 2009.
- 2) 平田美紀, 他: 家族が付き添った場合の幼児の採血に対する対処行動の観察分析, 聖泉看護学研究 1, 29-35, 2012.
- 3) 吉田美幸, 他: 検査・処置を受ける幼児後期の子どもが“よい体験”をするために必要なもの, 四日市看護医療大学紀要, 12(1), 1-15, 2009.
- 4) 石川紀子: 幼児後期の子どもに対する手術に対する前向きな取り組みを目指した看護援助, 千葉看護学会誌, 13(2), 54-61, 2007.
- 5) 岡本幸江: 小手術を受ける幼児後期の子どもを支える親の方略, 高知女子大学看護学会誌, 40(1), 2014, 52-59.